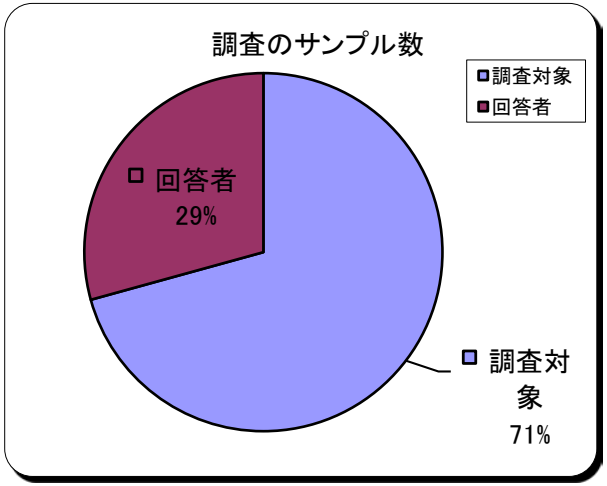
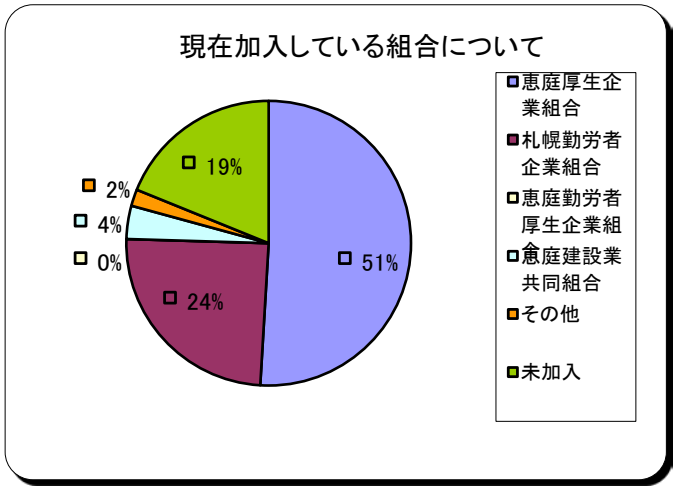
季節労働者アンケート結果概容

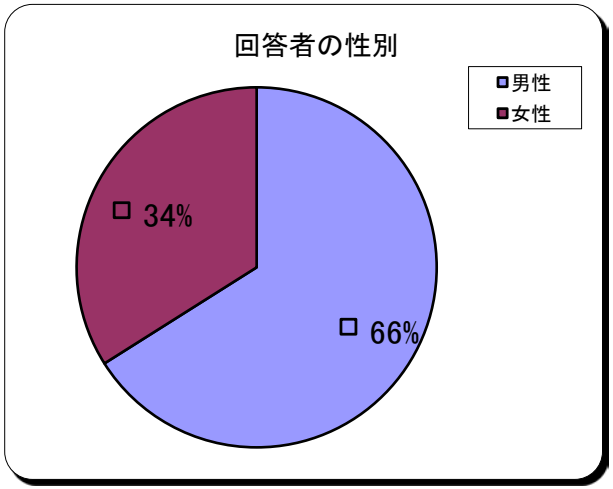
調査対象　市内4企業組合に加入する季節労働者
調査方法　各企業組合等を通じて無記名による調査
調査期間
回答数　　53　／　181　人
回収率　　29.3　％

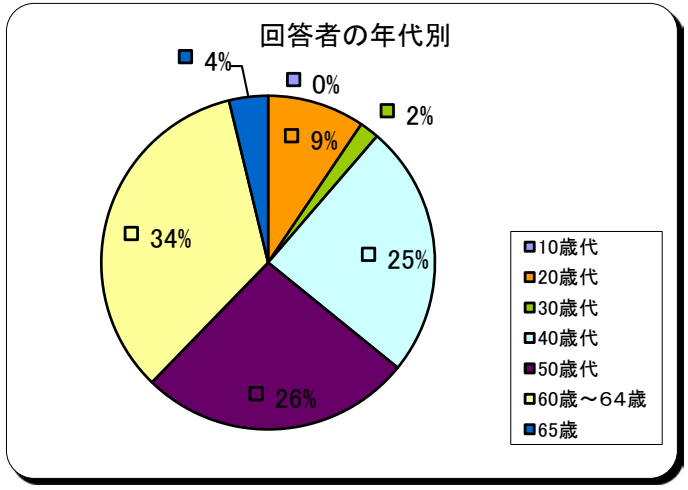




問1.　加入している組合について

①	恵庭厚生企業組合	27
②	札幌勤労者企業組合	13
③	恵庭勤労者厚生企業組合	0
④	恵庭建設業共同組合	2
⑤	その他	1
⑥	未加入	10
	回答	53





問2.　性別

①	男性	35
②	女性	18
	回答	53

問3.　年齢

①	10歳代	0
②	20歳代	5
③	30歳代	1
④	40歳代	13
⑤	50歳代	14
⑥	60歳～64歳	18
⑦	65歳	2
	回答	53

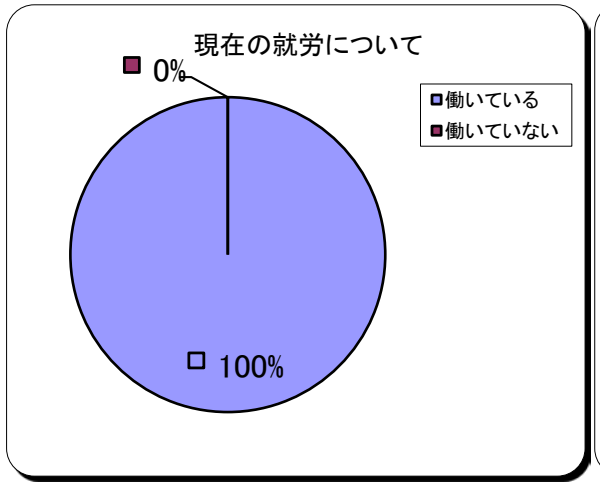
年齢別の回答結果では、40代以上、とりわけ高齢者が多い結果となった。

問4.　現在の働きについて（就労の有無）

①	働いている	53
②	働いていない	0

回答者の全員が現在も就労している。

回答　53

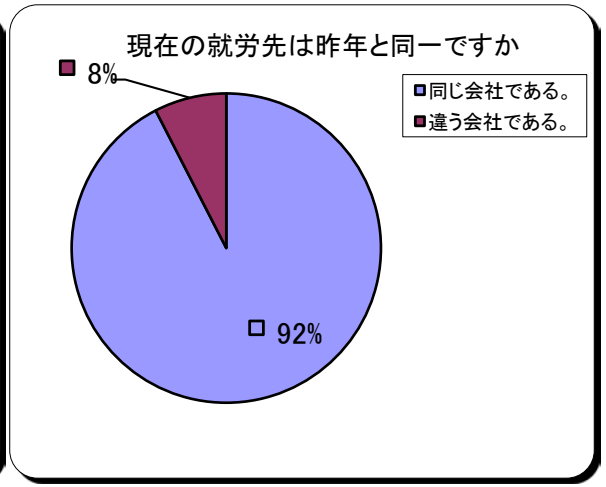


問5.　現在就労しいている会社は昨年まで就労していた会社と同一ですか？

①	同じ会社である。	49
②	違う会社である。	4

50代の人がほとんどで、20代の人もいた。

回答　53

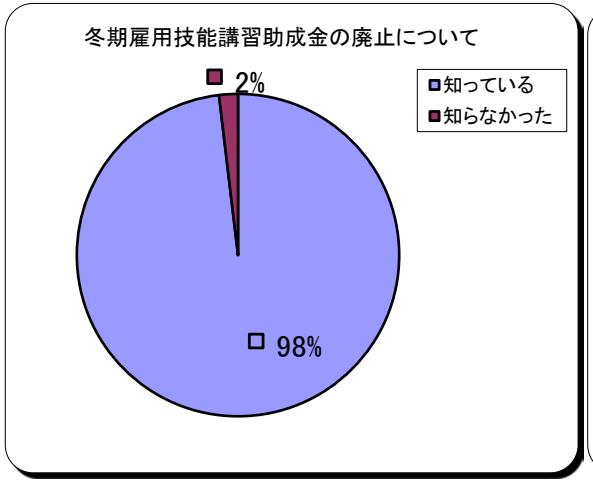


問6.　平成19年度から冬期雇技能講習助成金が廃止されたことをご存知ですか？

①	知っている	52
②	知らなかった	1

知らなかったと回答した人の年齢は60～64歳であった。

回答　53

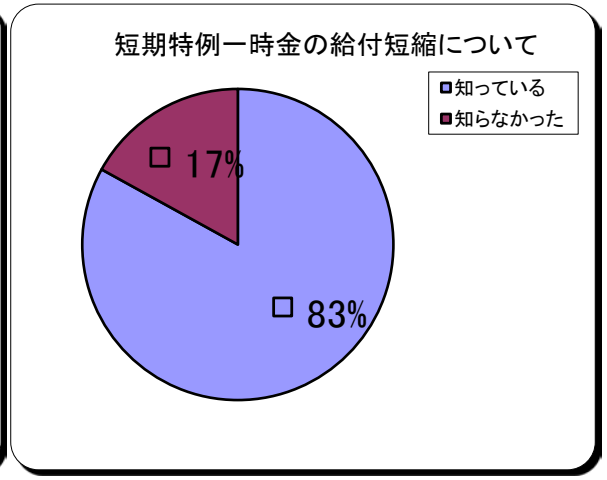


問7.　平成19年度から雇用保険短期特例一時金の給付日数が、50日から40日に短縮されたことをご存知ですか？

①	知っている	44
②	知らなかった	9

知らなかったと回答した人の年齢は40～65歳であった。

回答　53

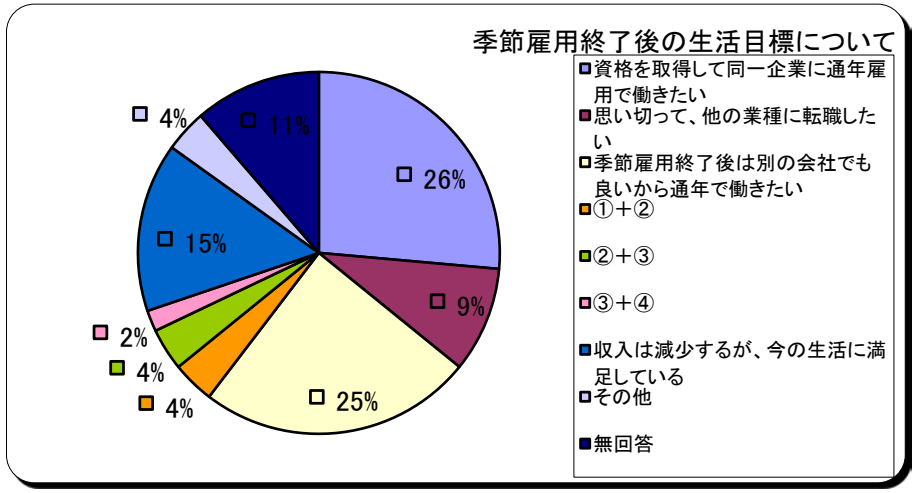


問8．季節雇用終了後の生活目標について

①	資格を取得して同一企業に通年雇用で働きたい	14
②	思い切って、他の業種に転職したい	5
③	季節雇用終了後は別の会社でも良いから通年で働きたい	13
イ	①＋②	2
ロ	②＋③	2
ハ	③＋④	1
④	収入は減少するが、今の生活に満足している	8
⑤	その他	2
⑥	無回答	6

資格を取得して同一企業に通年雇用で働きたい。他の業界に転職したい。
別の会社でも良いから通年雇用で働きたい。と希望する人が全体の60%を占める。
さらに複数回答を含めると通年雇用での就労希望者は68%にも及ぶ。
年代別では50代が最も多く、次に30代、40代が占めている。（男性20名・女性12名）

回答　53

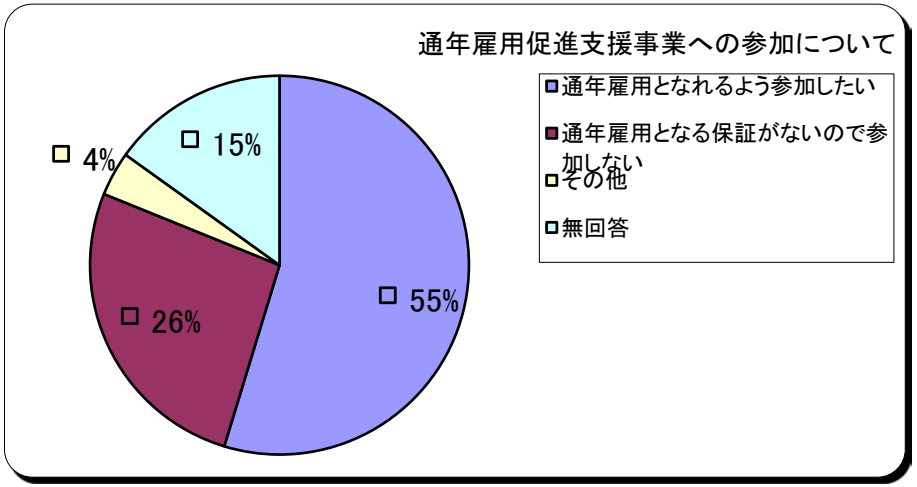


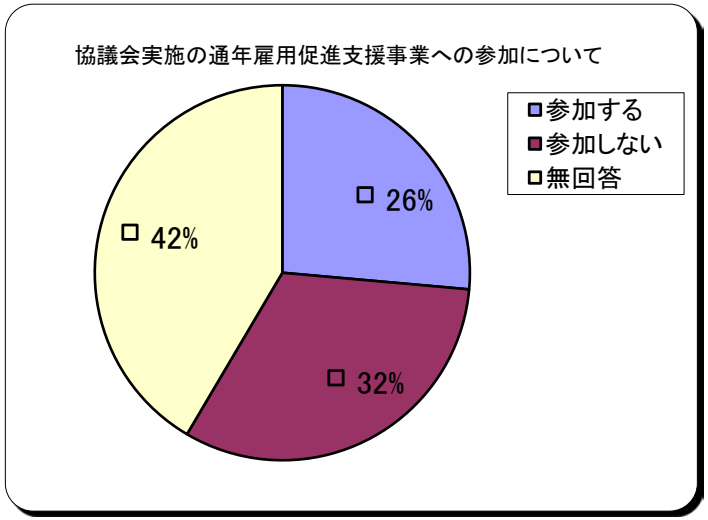
問9．協議会が実施する通年雇用促進支援事業への参加について

①	通年雇用となれるよう参加したい	29
②	通年雇用となる保証がないので参加しない	14
③	その他	2
④	無回答	8

参加希望者を年代別に見ると60～64歳が11人、40代が8名、20代と50代で5名となっている。参加しないと回答した人は50代が6人、40代が4人、65歳で2人となった。中高年齢層に関心の高いことがうかがえる。

回答　53





問10．通年雇用促進支援事業への参加には金銭の支給が伴なわないが、それでも参加しますか？

① 参加する	14
② 参加しない	17
③ 無回答	22

協議会が実施する通年雇用促進支援事業（金銭の支給はなし）への参加意識について年代別に分類すると、参加すると回答した人は60～64歳で7名、40代で5名との結果であった。一方参加しないと回答した年代構成別では、60～65歳で7名、50代以下で4名と、二分している。しかし無回答者が最も多く、50代で10名、40代、60～64歳でそれぞれ5名となっており。ここでも高齢者の関心が目立っている。
事業の周知宣伝如何では参加者（特に高齢者）の増加も見込まれる。

回答　53

問１１．あなたは協議会がこの事業を実施した場合に、どのような事業を希望しますか？どのような意見でも構いませんので、ご記入ください。

ア　今年の失業保険がどうなるのか知りたいのですが、その情報を皆が知りたいこみとだと思います。平成１９年１月１０日から、今まで6ヵ月働けば資格があっだ、１年以上でないと資格が無くなると聞いていますが、短期の労働者は今までどおりなのですか？

イ　わからないので希望しません。

ウ　今の仕事を続けていけないのなら、料理の道に進めば良い。

エ　工場内で通年雇用化されたい。

オ　土木や建築などの国家試験に関わる講習を希望します。

カ　事業と言われましても、どのような仕事なのかわかりませんが、自分に合う仕事であれば働きたいと考えている。

キ　冬期技能講習に代わるもの。

ク　建設業や造園関係であれば特に問題はない。

ケ　特例一時金が戻るなら、給料を上げて欲しい。今の社会保険庁をなくして欲しい。

コ　パソコン入力業務、内職的なもの。

サ　何でもいいから働きたい。苦しいから。

シ　建設業を希望。